

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 6																												
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業																												
細要素事業名	鶴住居地区地域交流拠点等整備・運営検討事業																												
全体事業費	7,000千円 (5,600千円)																												
<p>【1. 事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市鶴住居地区では、津波復興拠点整備事業を導入して慰霊や防災・地場産業（漁業）振興を通じた交流拠点整備区域を形成し、市内外の人口交流と防災教育や被災地の情報発信機能を有した観光の拠点として計画している。（市の復興まちづくり計画の基本目標「人やもの、情報の交流拠点づくり」として位置付） 本事業は、当該交流拠点区域に整備を予定している地域交流拠点施設（公共・公益施設）に関し、 ① 地域交流や地場産業（特に漁業）の振興に資する観光交流拠点として機能を発揮させるための効果的な施設配置（導入機能検討含む） ② 将来を見据えた施設規模 ③ ①、②の調査結果を踏まえた施設の運営・維持管理手法 等のより具体的な調査・検討を実施し、市街地再整備の中核となる公共・公益施設の効果的かつ早期整備を推進するものである。</p> <p>【2. 調査対象とする公共施設】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">計画面積等</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>敷地面積</th> <th>延床面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域交流拠点施設</td> <td>約22,000㎡</td> <td>約1,000㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・展示交流施設 *</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・直売及び物産施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コミュニティレストラン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・トイレ</td> <td></td> <td></td> <td>旧根浜さわやかトイレの代替施設</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*展示交流施設の内容については、別途検討するため、本事業には含まない</p> <p>【3. 調査内容】 ①鶴住居駅前津波復興拠点施設整備に関する調査、検討 : 2,000千円 （内訳）・基本計画策定に関する調査（基本的な考え方・前提条件） ・検討委員会の開催・運営 ②建物計画（導入機能、規模）・事業手法に関する調査、検討 : 3,000千円 （内訳）・施設規模検討 ・施設配置検討 ・基本プラン検討 ・事業手法の検討（概算事業費の算出含む） ③管理・運営手法に関する調査、検討 : 2,000千円 （内訳）・収支シミュレーション調査 ・管理・運営計画検討 ④整備スケジュールの検討</p> <p>【4. 事業のスケジュール】 ・事業期間：平成26年11月～27年3月</p>				施設名	計画面積等		備考	敷地面積	延床面積	地域交流拠点施設	約22,000㎡	約1,000㎡		・展示交流施設 *				・直売及び物産施設				・コミュニティレストラン				・トイレ			旧根浜さわやかトイレの代替施設
施設名	計画面積等		備考																										
	敷地面積	延床面積																											
地域交流拠点施設	約22,000㎡	約1,000㎡																											
・展示交流施設 *																													
・直売及び物産施設																													
・コミュニティレストラン																													
・トイレ			旧根浜さわやかトイレの代替施設																										

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 30
要綱上の事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業
細要素事業名	釜石情報交流センター（仮称）整備事業
全体事業費	300,000千円（240,000千円）
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】</p> <p>釜石市東部地区では、津波復興拠点整備事業を導入して商業拠点区域を形成し、市内外の人口交流と商業の拠点として復興まちづくりを計画している。（市復興計画において、「フロントプロジェクト1」として位置付）</p> <p>また、釜石市東部地区には、現在2,000人以上が居住しているが、市が行った住宅再建意向調査の結果を踏まえ、今後430戸の復興公営住宅を建設することにしており、当該エリアにも150戸を超える住宅を整備することにしてている。</p> <p>上記を踏まえ、本業務において、釜石市東部地区に居住する被災者のコミュニティ活動の拠点として、釜石情報交流センターを整備するものである。</p> <p>※釜石情報交流センターの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ラウンジ：被災者の誰もが集える憩いの場。掲示板等を活用して、被災者のコミュニティ活動の情報発信も行う。 ②ワークスペース：被災者のコミュニティ活動を支えるための会議室、ワーキングスペース等 ③市民協働スタジオ：被災者のコミュニティ活動及び被災者を支援する団体等の活動のアーカイブを行う場。 ④多目的集会室：被災者を対象とした各種教室や講演会等を行う多目的集会室 <p>■【業務概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委託業務名称 釜石情報交流センター(仮称)整備事業 2 業務内容 (1) 建築工事 3 履行場所 釜石市大町（フロントプロジェクト1） 4 事業費 300,000千円（消費税額及び地方消費税額含む） <p>※市単独費との費用負担の考え方は別添資料参照</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 業務期間 平成26年12月1日～平成27年10月30日 	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 0 及び参考様式第 2 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 28
要綱上の 事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業
細要素事業名	避難誘導機器等整備基本計画策定（その 2）事業
全体事業費	10,203千円（8,162千円）
<p>【委託料（事業費）】 H26年度 10,203千円</p> <p>【業務内容】 平成25年度に実施した「避難誘導機器等整備基本計画策定業務」をベースに、大地震発生時に危惧される津波から迅速に避難できる避難経路の検討や経路上での移動に役立つ避難誘導標識、避難誘導照明、津波避難場所案内看板等の整備に関する検討を行う業務を委託するもの。</p> <p>《検討事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 津波避難に必要な経路に関する検討 <ul style="list-style-type: none"> ※ 他の復興関連事業の情報収集及び調整を含む。 (2) 津波避難経路を対象とした案内サイン等整備計画検討 (3) その他の「津波避難環境づくりの方針」実現に向けた検討 <ol style="list-style-type: none"> ①緊急避難場所での避難に必要な空間環境確保の検討 ②津波避難経路における空間環境づくりの検討 ③緊急避難場所から拠点避難所等への緊急避難経路の検討 ④資材備蓄及び孤立回避のための救援・補給システムづくりの検討 <p>【基幹事業との関連性】 津波復興拠点施設整備事業等の実施に際し、東部地区他被災市街地・被災集落における津波避難誘導體制の確立を図り、ソフト・ハード両面における生命優先の減災まちづくりを推進しようとするもの。</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 29
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	FP2公共・公益施設整備調査事業
全体事業費	5,000千円
<p>【1. 事業概要、基幹事業との関連性】</p> <p>釜石市只越町及び天神町（現市庁舎周辺）は、復興まちづくり基本計画で、フロントプロジェクト2として位置付けられ、釜石市の中心機能の復旧と新たな都市機能の誘導を図ることを目的とし、震災で失われた公共・公益施設の有効な再配置と、震災の教訓を活かした防災危機管理センター（仮称）の整備を計画している。</p> <p>具体的には、現庁舎周辺及び旧釜石小学校跡地を対象に、旧釜石第一中学校跡地に整備される復興公営住宅や認定子ども園の配置を踏まえつつ、市民の安全と安心を守るという視点からの災害に対する施設の安全性や、防災危機管理センター（仮称）という新たな機能やメモリアル施設を整備した場合の動線等も考慮に入れながら、限られた土地の有効活用、公共・公益施設の再配置、規模、方向性等を具体的に調査や検討することを目的とする。</p> <p>【2. 調査対象とする公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災危機管理センター（仮称） ・埋蔵文化財保管庫 <p>【3. 調査内容】</p> <p>(1) 現状分析 現状における公共・公益施設の課題整理</p> <p>(2) 整備方針 公共・公益施設の機能、施設構成、概略規模を検討すると同時に、候補地の条件整理と施設用地の比較検討</p> <p>(3) 施設計画 新たに整備する公共・公益施設について、配置、造成、景観等の計画検討</p> <p>(4) アクションプラン 施設計画を実行するにあたっての具体的事項の整理</p> <p>(5) 委員会運営支援 FP2公共・公益施設整備調査委員会（仮称）の運営支援 <small>※当委員会は、釜石市復興まちづくり委員会の分科会的な位置付けとなり、上部組織が釜石市総合振興審議会となります。</small></p> <p>(6) 基本計画書のとりまとめ 「（仮）FP2公共・公益施設整備基本計画書」の作成</p> <p>【4. 事業のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間：平成26年11月～27年3月 	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 10 - 7
要綱上の事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	鶴住居・片岸地区上水道施設設計に係るマネジメント事業
全体事業費	29,314千円 (23,451千円)

委託料 (事業費)
総事業費

(内訳)	H26年度
CMRマネジメント費	20,337,000 円
UR都市機構管理諸費	8,977,000 円
合計	29,314,000 円

事業概要

○地区名：鶴住居・片岸地区

○目的

対象地区の都市再生区画整理事業に併せて整備する上水道施設（配水管等）の設計については、「東日本大震災にかかる水道施設等の災害復旧費」により整備することとなっているが、一括設計施工に伴う独立行政法人都市再生機構及びコンストラクションマネジメント方式により機構と契約している企業共同体へ支払う管理諸費等が災害復旧費対象外となっているため、効果促進事業を活用するものである。

事業内容

上水道施設 実施設計

基幹事業との関連性

独立行政法人都市再生機構に業務委託契約している土地区画整理事業等の設計及び施工に合わせ、上水道施設設計も併せて一括設計委託することにより、道路事業等の他事業との連絡調整が円滑になり、復興事業を加速化させることが可能となるもの。

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付してください。